

令和2年度 年間教科シラバス

中学・高校	高 校	学 年	1 年					
教 科	数 学		科 目	数学Ⅰ・A			単位数	3+2=5
担当者	A 石丸篤志	B 樋口浩二	C 藤井謙一	D 小野和輝	E 木原広			
教科書	「改訂版 新編数学Ⅰ」、「改訂版 新編数学A」			副教材	Qubena			

○学習到達目標

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用できる態度を育てる。

○教科道徳教育到達目標

数学における定義・定理・公式などのルールに従い、根気強く客観的・論理的に思考する姿勢を養う。同時に真理を導き、少しでも苦手意識を克服し、達成感と論理的思考能力、自尊感情の醸成を目指す。

○学習方法

- ① 教科書で予習を行う。
- ② 授業でポイントや解説を聞き、グループまたは個人で問題を解く。
- ③ 授業における疑問や質問があれば、グループまたは教員に聞き、その場で解決をはかる。
- ④ Qubenaおよび教科書問題で復習を行う。
- ⑤ 課題プリントや iPad に配信された課題を、期限内に提出または回答する。

○グレード別授業の基準

実力考査・進研模試・各種テストで総合的に判断する。

○指導計画(学習内容・考査等の予定)

学期	月	学習内容	学期	月		学期	月	
1	4	休校	2	9	数学Ⅰ 第3章 2次関数	3	1	数学A 第2章 図形の性質
	5	休校		10			2	数学Ⅰ 第5章 データの整理
	6	数学Ⅰ 第1章 数と式		11	第4章 三角比		3	期末考査
	7	第2章 集合と命題 期末考査		12	期末考査			
	8	数学A 第1章 場合の数と確率						

○評価方法

ルーブリック評価を単元毎に行う
 各学期ごとに、期末考査・ルーブリック評価を行い、学期成績を算出し、すべての学期成績の平均を学年成績とする。
 (期末考査50% ルーブリック評価50%)
 ※ルーブリック評価観点表は別紙参照

観点	比率	評価段階				
		評価項目	A	B	C	D
知識及び技能	30点	日々の課題	80%以上	65%以上	50%以上	50%未満
		まとめテスト	80%以上	65%以上	50%以上	50%未満
思考力・判断力・表現力等	10点	数学的な見方・考え方・表現(自己評価と他者評価)	例題などの問題に取り組み、正しい答えを導くことができ、更に他者へ教えることも出来る。	例題などの問題に取り組み、正しい答えを導くことができる。	例題などの問題に取り組み。	例題などの問題に取り組まない
主体的に学習に取り組む態度	10点	授業準備・復習	与えられた課題等の提出が100%	与えられた課題等の提出が80%以上	与えられた課題等の提出が50%以上	与えられた課題等の提出が50%未満
		取り組む姿勢(自己評価と他者評価)	各活動に積極的に参加している。更に、理解した上で他者へ教えることが出来る。	各活動に積極的に参加している。自ら理解につなげようとしている。	授業中の各活動に参加している。	授業中の各活動に参加していない。